

ナンバリング		授業科目名(科目の英文名)					区分・【新主題】/(分野)		授業形式						
		物理II (Physics II)					基礎分野科目 自然・科学		対面						
必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	主に使用する言語		その他に使用する言語		担当形態					
選択(臨床 医工学コース は必修)	1	1	医学部先進医 療科学科	後期	金3	日本語				単独					
担 当 教 員	氏名 谷川雅人 E-mail tanigawa@oita-u.ac.jp 内線 5603														
授 業 の 概 要	本講義では、電磁気と放射線について学修する。電磁気では、電流、オームの法則、電荷、電場、磁場、その安全性について学修する。また、放射線については、X線、線などの基礎と医学への応用、人体への影響などについて学修し、理解できる。														
具体的な到達目標							DP等の対応(別表参照)		1	2	3	4	5	6	7
目標1 高校の物理で理解の不十分であったところを再学習する															
目標2 大学生として最低限必要の物理を学習する															
目標3 専門課程で必要となる物理の基礎を身につける															
目標4 身に着けた物理を他の分野に応用発展することができるようになる。															
目標5															
目標6															
目標7															
目標8															
目標9															
目標10															
							各DPへの関連度(計10)		2	1	2	1	1	3	
授業の内容															
1	熱														
2	熱力学														
3	真空中の静電場														
4	導体と静電場														
5	誘電体と静電場														
6	電流														
7	電流と磁場														
8	電磁誘導														
9	マクスウェルの方程式と電磁波														
10	相対性理論														
11	原子物理学														
12	原子核と素粒子														
13															
14															
15															
ラ イ ク ニ テ ン イ グ ブ	A:知識の定着・確認	予め授業内容を調べておき。適宜、学生が調べた内容を発表し、学生間での議論ののち教員が内容を確認する。					工 夫	そ の 他 の							
授 業 時 間 外 学 修 の 内 容 と 想 定 時 間	準備学修	教科書をよく読んでおく(10h)。													
	事後学修	授業内容を理解しmoodleや教科書章末問題などを自ら解く(13h)。。試験等の前にこれまでの内容を再確認する(10h)。													
	想定時間合計	33													
教科書	物理学基礎 原 康夫 著(学術図書出版) ISBN978-4-7806-0950-9														
参考書	医歯系の物理学:赤野松太郎(東京数学社) ISBN-13 978-4808220723 大学初年次で学ぶ物理のコツ 浅賀圭祐、秋山永治 著(学術図書出版) ISBN-13 978-4780608502 基礎講義 物理学 井上英史 監修(東京化学同人) ISBN-13 978-4807909711														

成績評価の方法及び評価割合	評価方法	割合	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10
		授業への積極的参加	30%									
	期末試験	70%										
注意事項	授業中にmoodleを用いるので、moodleが利用可能な端末を各自用意すること。授業および試験において関数電卓を用いた計算を行うことがあるので、持参すること。											
備考	高校の数学と物理を前提としているので、苦手な人はあらかじめ高校の範囲は必ず理解しておくこと。											
リンク												
	URL											